

## 第1回亀岡市における文化施設のあり方を考える懇話会 議事要旨録

日 時：令和3年5月25日（火） 午前10時00分～正午

場 所：亀岡市役所2階 202・203会議室

出席者：今里佳奈子座長・川勝啓史副座長・大矢寛恵委員・小川顕正委員・加藤美智恵委員・河原林茂美委員・栗山初美委員・野原通夫委員・藤本邦雄委員・松井利夫委員・山本隆志委員

欠席者：大野照文委員

関係職員：財政課 山本課長

文化国際課 小塩課長・服部副課長兼係長

財産管理課 野々村課長

歴史文化財課 岩崎課長・八木係長

事務局：政策企画部 浦部長

企画調整課 高木課長・太田係長・關本主任

傍聴者：3名

議 題：1 開会

2 委嘱状の交付

3 市長あいさつ

4 委員紹介

5 座長選出

6 副座長指名

7 議事

(1) 懇話会について

(2) 亀岡市文化資料館について

(3) 文化ホールについて

(4) 亀岡市公共施設等総合管理計画について

(5) 亀岡市の財政状況について

8 その他

9 閉会

### 1 開会

本懇話会は公開とする。

### 2 委嘱状の交付

### 3 市長あいさつ

### 4 委員紹介

### 5 座長選出

今里委員が座長に就任することで委員全員承認。  
座長あいさつ

### 6 副座長指名

川勝委員が副座長に指名され、承諾。  
副座長あいさつ

### 関係職員・事務局職員紹介

### 配布資料確認

### 7 議事

#### (1) 懇話会について

事務局から懇話会の概要、今後のスケジュール等について説明。

質疑応答等、特になし。

#### (2) 亀岡市文化資料館について

歴史文化財課職員から資料に基づいて説明。

#### A委員

文化資料館友の会として補足説明したい。

新資料館構想の策定について、友の会の会員として参加していた。本日欠席の大野先生が構想策定委員会の会長であり、構想について高く評価されていた。友の会が構想策定に深く関与したと知ってほしい。

#### (3) 文化ホールについて

文化国際課職員から資料に基づいて説明。

#### B委員

本日の懇話会開催にあたり、文化交流協会の19団体の会員に、アンケートを実施したので意見を発表する。

- 練習場所で広い所がない。
- 建物が古い、冬は寒い、夏は虫が入ってくる。
- 発表する場は、ギャラリーや大本のホール、各自治会のセンター、小さな私設の所、京都市内や滋賀県の公共施設を借りている。
- 新しい文化施設が完成したら、市民の文化発表会、交流協会独自の発表会で使用し、優れた文化・芸術を招致して、公演を観覧したい。
- ギャラリーは控室が遠く、舞台裏・舞台袖・バックヤードが狭い。現状の機能は不十分。
- 新しい施設を作る場合、バックヤードを広くし、搬入をやすくしてほしい。
- 音響・照明設備を充実させてほしい。
- 緞帳を設置してほしい。
- 施設の規模は、500人から600人くらいの収容人数で。
- 昨年、霧の芸術祭に参加した際は、小さな所で発表したけど、広くて良い設備の所でも発表したい。

#### C委員

資料No.5-2の②利用内訳で、響ホールの「その他」が平成25年度の310件から、平成30年度は133件に減った原因は。

#### 文化国際課長

響ホールは多目的に使える場所。講習、会議、研修で多く使われていた団体が、ギャラリーの大広間に場所を変更された。

#### D委員

平成25年度の「文化系」・「音楽系」の合計が215件で、平成30年度の合計が218件。亀岡会館が無くなってからもほぼ横ばい。亀岡会館が閉館したら増えそうだが、そうならなかったという認識でよいか。

#### 文化国際課長

大幅な増加はないが、「音楽系」は平成25年度の71件から82件に増えている。

#### D委員

「文化系」との合計では3件しか増えていない。合計では、ほぼ横ばいという認識でいいか。

## 文化国際課長

そうです。

## D委員

南丹市園部文化会館がリニューアルオープンした。この中に載っていないが、把握されているか。

## 文化国際課長

正確に答えられないので調べます。

## A委員

響ホールは、音楽以外の目的で使用されていることも多く、音楽の目的で予約を取ることが非常に難しいと聞く。この数字は、必ずしも市民のニーズを表していないと思う。

## D委員

数字はバロメーターなので、その中で分析をすることも大事。

## C委員

次の懇話会まででいいが、亀岡会館の平成25年度の「音楽系」42件、「文化系」26件は、その後どうしているか調査を。

## E委員

市内で吹奏楽をしている団体は中学5校、高校2校、我々と京都先端科学大学。今まで亀岡会館でしていたことが、全てギャラリーには移っていない。亀岡高校は亀岡会館で定期演奏会をしていたが、今は京都市内のホールでされている。中学校は大きな舞台ではできない。

亀岡市吹奏楽団はギャラリーを使用しているが、利用料が高く、舞台の設置で40万円近くかかる。演奏会でのアンケート調査でも、フラットで舞台が見えにくい、椅子が疲れるという意見があった。

## 座長

小川委員と河原林委員の件で、担当から説明をお願いします。

## 文化国際課長

亀岡市吹奏楽団のように、ギャラリーに移っていただいているものもある。バレエの発表会は仮設の舞台ではできないので、使用されていない。中学校の吹奏楽の練習も使用されて

いない。亀岡会館は指定管理者制度で、自主事業の歌謡ショーや映画上映をされていたが、閉館に伴って開催されていない。

#### (4) 亀岡市公共施設等総合管理計画について

財産管理課職員から資料に基づいて説明。

質疑応答等、特になし。

#### (5) 亀岡市の財政状況について

財政課職員から資料に基づいて説明。

### F 委員

私たちが新文化施設を使いたいから早くほしいということではなく、子や孫の世代に残していきたい。新文化施設の建設賛同者は、市内の人に限っておらず市外の人もいる。亀岡市のお金で全てするべきと思っていない。近隣の自治体との取組で文化施設を考えるとや、府内でも南丹地域にのみ府立の文化施設がないため、府立も一つの検討材料であると思う。市単独で作ることは難しいと承知している。将来世代に負担を残さないことを考えたい。ギャラリーかめおかの一角や隣接した所、府立スタジアムと駐車場を共有する形で建設できないか等、色々な可能性を考えるべき。

### D 委員

資料館は過去何年間かで議論をし、亀岡市新資料館構想の1ページの真ん中に結論は掲載されている。文化ホールは一からのスタート。次回からは検討内容を具体的に分けて議論してほしい。文化資料館は建物等のハード面の議論、文化ホールはソフト面からスタートする議論をしてほしい。アンケート内容もその辺をきちんとしてほしい。

### 事務局

ただ今の意見を踏まえ、次回以降の進行について検討する。

### 副座長

亀岡市も色々な問題を抱えている。人口減少・少子高齢化により、市税の収入が上がらない中で、今後何か新しいことをやっていくとなると、一人当たりの税金等を上げなければならなくなる。何を選択するのが問われる。霧の芸術祭をはじめとする文化も大事だと思う。市の財政と文化施設の関係を慎重に考えたい。

## 8 その他

## A 委員

市の公式LINEはどれくらいの登録者数か。LINEアンケートで意見の集約ができるのか疑問に思う。

## 座長

事務局から説明願う。

## 事務局

LINEアンケートの期間は6月から7月の間で2～3週間。結果は第2回懇話会で報告する。亀岡市の公式LINEの登録者数は現在で約1万5千人。

アンケートを実施する際、調査対象が1万人を超えた場合は、以降大きく増加しても約400人からの回答があれば、信頼性がある結果が得られるとされている。紙ベースでの無作為抽出だと市政への関心の有無に関わらず、市民の方へ送付することになるが、公式LINEは市政情報を発信しており、LINEでのアンケートはある程度、市政に関心がある方へ送付することができ一定有効である。

事務局で考えた設問案について、委員にも御意見を伺いたいと考えている。

## 9 閉会

以上